



みどりのきずな

平成 30 年 1 月 1 日発行 第 33 号

編集: 緑区支え合いのまち推進協議会広報部会 発行: 緑区支え合いのまち推進協議会事務局 緑保健福祉センター内

TEL:043(292)8142 FAX:043(292)8276

第 4 期緑区支え合いのまち推進計画に あんしんケアセンターの果たす役割は大きい

委員長 岡本 博幸

あんしんケアセンターを一言でいえば、「悩みを解決してくれる仏様」と言えるでしょう。高齢者の心に絡まった苦しみや悩みを解き施す「ほどけ (ほとけ)」のような役割をしている存在だと思います。

1 人暮らしの高齢のおばあさんの要望を受けて自宅へ話し合いに行きました。私も同伴し 2 人の話し合いをじっと聞いておりました。「お元気ですか。体の具合に悪い所はありませんか。心配なことがあったらお話しください」という言葉で膝を交えて話し合いが始まりました。以前からあんしんケアセンターの人と話し合いたいとの希望があり、実現したのです。話題は暮らしや体のことが中心でした。話し始めるとなかなか止まりません。1 年分の鬱積が堰を切ったかのように話すのでした。問題は 1 つもありませんでした。きっと話し合いたかったのでしょう。聞いてもらいたかったのでしょう。終わった後、ほっとしたにこやかな顔に変わっているのがとても印象に残りました。

第 4 期緑区支え合いのまち推進計画において、高齢化の問題「介護予防、認知症対策、老々介護、生活・健康医療の相談、高齢者の権利等様々な支援」は年々増加し、社会問題となっています。これらに直接関わり、親身になって対応してくれるのがあんしんケアセンターです。区では 3 つの機関が第 4 期計画の推進にあたり、独自の活動計画を立て推進していきます。

あんしんケアセンター土気 ☎295-0110

土気地区全体の高齢化率は 26% です。場所によっては 45% を超える地域もあります。相談件数は月平均 168 件で、その内訳は介護保険に関

する相談が半数、続いて認知症の相談となっています。

第 4 期計画の推進に当たっては、①民生委員・社協地区部会・自治会等との連携強化、②地域の活動へ出向いて、健康や介護予防への取り組みや地域交流の立ち上げ支援、③訪問支援を要する高齢者・家族の相談等に積極的にかかわっていきたいと思います。

あんしんケアセンター誉田 ☎300-4855

誉田地区全体の高齢化率は 27% です。相談件数は月平均 90 件で、その内訳は介護保険の関係が最も多く、続いて認知症となっています。また月 1 回の体操教室、認知症カフェのお手伝いをしています。

第 4 期計画の推進に当たっては、①自治会との連携、②防災訓練の協力、③地域交流の場の立ち上げ、④訪問相談等に積極的にかかわっていきたいと思います。

あんしんケアセンター鎌取 ☎293-6911

鎌取地区全体の高齢化率は 15% ですが、地区によっては 7% ~ 36% と地域差があります。相談件数は月平均 259 件で、その内訳は介護保険に関する相談が 128 件、続いて認知症・精神疾患関係となっています。

第 4 期計画の推進に当たっては、①見守り団体との連携、支援体制づくり、②予防介護の取組み、③認知症対策の啓発、④自治会・公民館等での健康相談会の開催等を継続的に推進していきたいと思います。

以上が第 4 期計画にあたってのあんしんケアセンターの重点目標です。保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーの方々が専門性を活かして取り組みます。社会福祉協議会に於いても活動に対し全面的に支援を行っていきます。

椎名地区

今年もお米が立派に育ってくれました さぁ一稲刈りだ！

私たち椎名小学校5年生が、5月に泥んこになりながら植えた1粒の種が、100粒の実を付けるまでに立派に育ちました。

稲刈りは楽しかったけど、腰も痛くなり、おじいちゃん・おばあちゃん達もこんなに苦勞をしてお米を作っていたんだなあ！

このお米で「太巻きすし」を作って、みんなに食べさせてあげよう。食べ物、無駄にしないようにしよう。



秋祭りだ！ ドンドンヒャララ ドンヒャララ

椎名崎町にあるグループホーム「根本家」で、9月24日（日）に恒例の秋祭りが開催されました。

場内には、介護食の紹介コーナー、やきそば・フランクフルト・お茶・ボールすくい等の模擬店もあり、周囲から集まった多くの方にも無料で提供されていました。

また、おゆみ野のボランティア団体による「和太鼓」演奏が祭りを盛り上げ、きれいに着飾ったお年寄りも次世代を担う若者たちも一緒になり手拍子・足拍子で楽しんでいました。



誉田地区

各種地域役員の研修旅行

11月22日は、この冬一番の寒さでした。

毎年恒例の各種地域の役員34名が集う研修旅行は会津に向かって出発。晴れていた空も福島県に入ると曇り空に、宿場町の大内宿での散策は閑散としており、寒さが余計凍みてきましたので、急ぎ今夜のホテルに入りました。

翌朝は、小雨煙る中を飯盛山へ。売店の若いガイドの心地良い訛り言葉。15歳～17歳（今での中・高校生）の少年達20名が会津鶴ヶ城を望みながらの自刃の説明を聞きました。改めて戦争の悲惨さを知り、お墓に向かって全員で合掌！

白虎隊と別れを告げ、千円札の人物画である生家とガラス館を見学し帰路へ。途中事故渋滞に会いましたが、一泊二日の旅は何事もなく、各自土産を抱えて各家庭に到着しました。



土 気 地 区

第23回 ふれあい福祉フェスティバル 開催



10月21日（土）22日（日）の2日間、福祉フェスティバルが開催されました。今年は、会場を土気小学校体育館に変更しての開催となりました。

台風の近づくあいにくの雨で、プログラムの一部を変更しましたが、多くの方々の参加があり無事に終了しました。手作り品の販売、施設の紹介、地域諸団体の歌や演奏の発表等も実施され、楽しいフェスティバルとなりました。



あんしんケアセンターの活動（サロン活動への参加）

土気地区では18地区でご高齢の方を対象としたサロン活動が実施されています。それぞれのサロンでは、支援者を中心に様々な活動を行っています。その中で、参加者のみなさんに意外と知られていないのが「あんしんケアセンター」の存在です。今年、「あんしんケアセンター土気」の担当者が各サロンを訪問し、活動状況や実際の利用のあり方等を説明しています。疑問にも直接答えることで、活用方法等の理解が進んでいくと思います。



お ゆ み 野 地 区

おゆみ野ウォーキング同好会



おゆみ野ウォーキング同好会は平成21年に役員体制ができ、コミュニティセンターに登録しました。それ以前、有志4人で歩いていた時期も入れると、活動期間は10年くらいになります。

活動は毎週日曜日に緑区役所前10時集合で、大百池まで往復4キロを歩いています。多いときは20数名の参加者ですが、雨が降ったりすると10人を切るときもあります。しかし、ウォーキングでは「雪も雨も自然」という言葉があるようにカッパを着て歩きます。その結果、今まで参加者ゼロの時はまったくなく続いています。会の目的が健康増進と親睦なので月1回「みんなの広場」を借り切って親睦会を行っています。1人ウォーキングもいいですが、たまには遊歩道を仲間とおしゃべりしながら歩きませんか。気が向いたら顔を出してください。現地集合で参加可能です。



恒例の「まちカフェライブ」



まちカフェライブ実行委員会主催で、緑区役所共催の「まちカフェライブ」が10月22日（日）に開催されました。台風の影響で雨の1日でしたが、各会場では外の天気を忘れるほどの盛況だったようです。

おゆみ野の街開き後まもなく開店した「自家焙煎珈琲 カフェ シェ・モア」も会場の一つで、「テンタティベリー」という名の3人グループが担当しました。地域住民に人気のグループで、ギター伴奏のフォークソングで盛り上がり、常連さんも聞き入っていました。ご存知ですか？「おゆみ野ソング」を広めているグループです。



防災訓練(ペット同行訓練(椎名地区))

9月3日(日)、119人が古市場体育館に集合し、防災訓練と動物避難訓練を行いました。

動物避難訓練はマニュアルが必要、とのことですが、区や市に見本はありませんでした。そこで、千葉市獣医師会会長や災害対策委員長に相談し、県外の資料を参考に作成しました。

訓練に先駆け、動物同伴者に説明会を2度行い、予防注射実施犬に限定する条件やスケジュールを確認して、訓練を行いました。

動物避難場所作成・班責任者選出・登録カード記入・給水・排泄物確認・散歩訓練を行い、蚊の問題等が発生したものの、無事終了しました。皆様のご協力に感謝いたします。



委員の一言

防災訓練(千葉市身体障害者連合会 廣田 健次)

9月3日(日)、昭和の森公園で、「九都県市合同防災訓練」が行われ、私も千葉市身体障害者連合会の一員として参加し、貴重な経験ができました。

当日来場された一般の方を対象に、地震発生時を想定し、障がいを持った人達を避難所まで安全にサポートする、という方法を実体験していただきました。白杖を持った人を誘導しながら、段差のある路面や、頭上の障がい物を避けて進み、無事障がい当事者を案内し終えた皆さんからは、自然と笑みがこぼれ、ほっとした様子が見られました。

また、車いすを押したり実際に乗ったりした方からは、僅かな段差でも、体に大きな衝撃が加わることに驚きの声が上がっていました。

編集後記

「自分さえ良ければ他人はどうでもよい」と点字ブロックの上に物を置いても平気な人、障がいを持った人への思いやりのない人の増加を嘆かわしく思います。「向う三軒両隣」を大切にし、みんなで助け合いながら暮らした古き良き時代を取り戻すために少しでも役立てばと、この「みどりのきずな」を編集しました。(E.H)

防災訓練(昭和の森公園(土気地区))



9月3日(日)、雲一つ無い晴天に恵まれ、千葉市の主会場「昭和の森第1駐車場」で各諸団体参加のもと「第38回九都県市合同防災訓練」が行われました。訓練の前段に、弾道ミサイルを想定した避難訓練も行われました。

その他土気小学校避難所運営各委員は、訓練項目16のうち2つの訓練に参加しました。

1つ目は、避難・避難誘導訓練：地震の発生に伴い千葉南警察官の誘導により安全な場所へ避難をしました。

2つ目は、初期消火訓練：地震発生と同時に住宅火災が発生したという想定のもと、バケツリレーによる初期消火、住民及び地元消防団による排水栓を活用した初期消火訓練を試みました。

今回の防災訓練に参加して思ったことは、「災害はいつ来るかわからない、必ずやってくる!」。安全確保のためには、防災訓練を繰り返し継続して行うことが重要であると改めて認識しました。



第4期千葉市地域福祉計画(原案) 市民説明会

11月4日(土)、緑保健福祉センターにて、「支え合いのまち千葉 推進計画 第4期千葉市地域福祉計画(原案) 市民説明会(緑区)」が開催され、約30人の市民の方々がお集まりいただきました。当日は、まず市の地域福祉課から計画の全体像と市計画の原案についての説明がされ、次に事務局より緑区の計画原案の説明と緑区での先駆的な取り組みを紹介、最後に市民の方からご意見・ご質問をいただきました。たくさんのご意見等をいただき、緑区の方々の福祉への関心の高さが伺えました。

今後は最終案をとりまとめ、パブリックコメントを実施していく予定です。

